

つくばサイエンス TSUKUBA SCIENCE

ハイライト:

- 発足1年
- 第2回理事会
- 医療通訳養成講座
- 医療機関で働く人たちの英会話

つくば市国際交流協会 TSUKUBA INTERNATIONAL ASSOCIATION

Vol. 2008.3.31発行

発足して1年が経ちました

早いもので、つくば市国際交流協会が発足して1年が過ぎました。

考えてみますと、本当に手探りの中、月日の過ぎるのが早く感じております。

平成19年におきましては、皆様のご協力のおかげを持ちまして、事業が無事終了となりました。今後、決算等事務はございますが、平成20年も全力で取組む所存でございます。

今年はいろいろ問題も多いようですが、北京オリンピックです。私たち協会もなんらかの形で、オリンピックに係れる事業が展開できるとよいですが。

つくば市国際交流協会
会長 沼尻 博



目次:

医療通訳養成講座	2
医療機関で働く人のための英会話	2
韓国大田市レポート	2
平成20年度事業案内	3
日韓国際交流サッカー大会	3
各種講座	4
賛助会員募集	4

第3回理事会が開催されました。

3月25日(火)つくば市国際交流協会の平成19年度事業報告、20年度事業案、収支予算案などのため、第2回理事会が実施されました。

20年度事業計画につきましては、いろいろなお意見がでしたが、職員一同、1年間精一杯やるつもりです。どうぞよろしく申し上げます。

平成20年度主な事業

- ・フェスティバル事業
- ・医療通訳ボランティア育成派遣及び登録事業
- ・賛助会運営事業
- ・広報事業
- ・青少年交流事業
- ・日本語スピーチ大会
- ・在住外国人調査事業

つくば市国際交流協会職員一同

※P3詳細をご参照ください



ロールプレイの様子

医療通訳養成講座

1月19日から4回にわたり、医療通訳養成講座を開催しました。この講座は、日本語が不安な在外国人が安心して医療を受けられるようにサポートすることを目的とした講座です。4回の講座合わせて通訳コース60人が通訳や医療の基礎知識を学習しました。また、一般コースとして2回講座が行われ120人が参加しました。

通訳コースは、英語、中国語、ポルトガル語の3カ国語。医療通訳は語学力に加え、基礎的な医療知識や医療用語が不可欠です。実際の診察を見立てたロールプレイ演習では、参加者は四苦八苦しながらも真剣に取り組んでいました。

2月21日には、通訳コース全行程を終了した方に修了証書が授与され、40人の医療通訳ボランティアが誕生しました。講座を修了した皆さんは、これからの活

動にむけ、研修などで経験を積み、現場で今までの努力の成果を発揮してくださることでしょう。



一般コースの様子

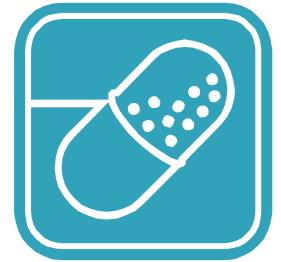
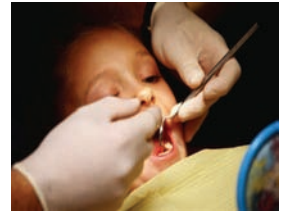
社会に役立つ
プログラム作り

医療機関で働く人のための英会話

この講座は、病院など医療機関で働く人たちが、日常「これが自分で言えたなら。」を少しでも解消できたらと実施しました。そして、この講座で得た知識を日常業務で利用して下さることが、外国人へのサービスの向上に繋がると考えました。

講座は、受付編、看護師編、薬局編、歯科衛生士編と4回開催しました。

参加者は、全部で56人。皆さんが、日常の仕事で使っ



つくばでのオリエンテーション

韓国大田市との青少年交流<レポート>

昨年12月22日から25日まで、つくば市内の学校に在籍している中学生と高校生7人と一緒に、韓国大田市へ「青少年友情作り事業」の引率として行ってきました。

この事業は、1999年につくば市が韓国大田市との交流協力を結んだことをきっかけとして始まり、つくばと大田市を毎年交代で訪問と受け入れをしており、今回で6回目となりました。

今回は、甲川(カプチョン)中学校での交流事業があり、歌や踊り、韓紙でのコースター作り、韓服体験などがありました。つくばの学生も事前にオリエンテーション

で準備した、歌、韓国語でのトミック、ゆかたの着付け、そして和紙での鶴の箸置き作りなど、大変だったようですが、日本の文化も伝えて来ました。

最初は、韓国語がわからないと不安な顔でホームステイに向かった子ども達も、お別れには涙涙、「隣の国だから、また会おうね。」などとメールアドレスの交換などをしていました。

(つくば市国際交流協会
大木)



着付け体験



ホームステイに向かう前

平成20年度事業案内

1 フェスティバル事業

つくば市在住の外国人との相互理解を深め、国際交流の推進を図るため、各種イベントを実施します。

実施日時:5月10日(土)、11日(日)

場所:つくばセンタービル付近

内容:世界の物産、料理紹介、販売

世界のステージ

国際理解プログラム など

2 医療通訳ボランティア育成・派遣・登録事業

外国人在住者が安心して病院で医療を受けられる事を目指し、医療通訳ボランティアの研修会の開催、協定病院への派遣及び人材の発掘、登録事業を展開します。

3 賛助会運営事業

協会の運営資金の充実を目指し、賛助会員を募集し、会費を集めます。

4 広報事業

ホームページの運営とニュースレターの発行で協会のPRをする。

5 青少年交流事業

青少年の国際理解と国際感覚を養うことを目的として実施します。

アーバイン、ミルピタス、深セン市、大田市

日韓中国際親善少年サッカー大会の開催事務局

6 日本語スピーチ大会

日本語を現況している外国人を対象に、日本語学習の啓発と国際都市つくばをPRするために開催します。

相談会の様子



必要な情報を
必要な人にお届け

したい。

7 在住外国人調査事業

つくば市内在住外国人を対象に調査。ニーズを知る事で、より良いサービスを展開することを目指します。

8 外国人支援事業

外国人がつくば市在住時に必要な情報・知る機会を提供します。

例)防災訓練への参加、在住に必要な手続き等の説明会、イベント、研修会の開催など

9 ボランティア支援事業



ホットニュース

日韓中国際交流サッカー大会ボランティア募集

つくば市、つくば都市振興財団では、7/25から29までの5日間、小学生を対象としたサッカー大会を開催します。

開催につきまして、大会のためのボランティアを募集します。

☆韓国語・中国語通訳・翻訳ボランティア

開催までに必要な書類等の翻訳や事務連絡の通訳、滞在中の随行通訳、また、大会の挨拶等の通訳(仕事内容によりレベルは違いますが、日常会話レベル以上の方)

☆運営ボランティア(語学力は問いません)

開催までの開場説明などの準備、大会運営、または随行

待遇:ボランティア保険への加入、など

問い合わせ

つくば市国際交流協会

電話029-869-7675

inter@tsukubacity.or.jp



国際交流協会局長から～カンボジアレポート～



つくば市国際交流協会
TSUKUBA INTERNATIONAL
ASSOCIATION

〒305-0032

つくば市竹園1-10-1

つくばカピオ別棟

電話 029(869)7675

FAX 029(851)9797

Email: inter@tsukubacity.or.jp

ホームページもご覧下さい

<http://www.tsukubacity.or.jp/>

3月9日から16日まで、JICAと茨城県国際交流協会主催の「カンボジアスタディツアー」に参加してきました。

名前のおり、勉強した旅行で、行く前に、2回オリエンテーションでは、いろいろカンボジアについて調べました。参加者は高校生、大学生が多く、私はメンバーの中では、年が上の方でしたが、このツアーに参加できたおかげで、学生さんの友達もたくさんできました。

私はゴミ最終処分場(通称ゴミ山)について、お知らせします。プノンペン市郊外で45年間24時間営業でゴミが運びつづけていられたのですが、ここも2009年3月で終息となるそうです。搬入車は日本から寄贈されたという車もあり、4tのパッカー車、ダンプカー60台ほどが激しく出入りしていました。

そのゴミ山に捨てられるものは、家庭から出された生ゴミ、アルミ系、鉄くず、衣類、ビニール系と一緒に捨てられていました。そんなゴミを漁る「スカベンジャー」と呼ばれる地元の集まりがあり、200から300人の人たちが我先にと必死になって生計の足しになるものだけを大きな袋に詰め込んでいました。年齢は大人から少年までいろいろでした。

今の自分を見つめなおす良い機会になりました。

事務局長 口田 和男



ゴミ山です

つくば市国際交流協会役員(変更がありました)

役職(現職名)	氏名
副会長(茨城共同印刷株) 専務取締役)	岡田 哲也

つくば都市振興財団からお知らせ

講座各種

- ・初級中国語講座
 - ・初級韓国語講座
 - ・初級スペイン語講座
- ※いずれも、5月から開講

・ポーランド料理教室

日時:5月16日(金)10:00から14:00

場所:春日公民館

参加費:1,000円

申込み4/1から

申込み、詳細は国際交流協会へTEL869-7675

<http://www.tsukubacity.or.jp/info>

平成20年度つくば市国際交流協会

賛助会員募集

個人会員 2,000円/1口

団体会員10,000円/1口

法人会員20,000円/1口

・入会者には特典として茨城ゴールド
ンゴールズつくば応援団とのコラボ エ
コバッグプレゼントします!

継続の方も申込みが必要となります。

※申込みは4月1日から※

詳細は協会まで

編集後記

はじめてのニュースレターをいつ出すのか、いつ取りかかるのかが、なかなかとりかかれず、長い間気掛かりでした。

4月に協会の業務が始まってから本当に駆け足で今までやって来た気がします。
今年もどうか宜しくお願いします。

